

JELC くるつてる

2006年

3月号

 No.699

常議員会

>>>>> 2.21 東京

2月20日(月)~22日(水)にかけて、東京 ルーテル市谷センターにて、第21回総会期第7回常議員会が開催され、5月の全国総会への詰めがなされると同時に新任教師・J3の紹介と派遣先の発表がなされました。

今回の常議員会は、5月に開催される全国総会への最終的な詰めがなされる重要な会議となります。そのため多くの時間は、案文の確定や各教区との調整などに当てられました。

また、例年2月の常議員会にて新任教師と新任J3(アメリカ福音ルーテル教会から派遣され、日本で3年間、学校等での働きを通して宣教する短期信徒宣教師)の紹介と派遣先の発表が行われます。今年も3名の新任教師と4名のJ3の紹介と派遣先の発表が松岡事務局長から以下の通りなされました。

新任教師3名は、関野和寛氏(東京教会・協力牧師)、西川晶子氏(防府、徳山、益田、柳井教会)、花城裕一朗氏(浜松教会)です。J3の4名は、ヘザー・シンプソン氏(文京カテリーナ)、ジェームズ・ドットソン氏、リサ・ハトソン氏、エイプリル・リーマス氏(以上九州学院)です。



ン氏(文京カテリーナ)、ジェームズ・ドットソン氏、リサ・ハトソン氏、エイプリル・リーマス氏(以上九州学院)です。

新たな地へと派遣される方々のためにお祈りください。



左からヘザー・シンプソン氏、ジェームズ・ドットソン氏、リサ・ハトソン氏、エイプリル・リーマス氏、花城裕一朗氏、関野和寛氏、西川晶子氏

第40回教職神学セミナー「召し出される私・信徒と教職の新しい協働へ」

>>>>> 2.13~16 東京



今年第40回を迎えた教職神学セミナーが、2月13日(月)~16日(木)の日程で、東京三鷹のルーテル学院大学・神学校において開講された。今年度の主題は「召し出される私・信徒と教職の新しい協働へ」であり、この主題に添って多彩なゲスト講師や神学校の教授陣による講演などがおこなわれた。

シカゴルーテル神学校から招かれたリチャードジャンセン博士は、脚注の中の教職と題したその講演の中で、世界の中において神と世界を和解させるために働いていく信徒を、教職がそのように育て、整えていく中でこそ教職と信徒の新しい協働の姿が形成されていく。その際、「下からの職務が、上からのものとして経験される」(信徒が、自分たちにふさわしい人物を、神さまから与えられた指導者として選び出す)という初代教会の経験から、わたしたちは学ぶのだと、世界の和解にむけた信徒の役割を語った。

また、最終日に講演した鈴木伶子氏(日本キリスト教協議会議長)は、自身のエキュメニカルなコンテキストにおける信徒としての豊かな経験から、社会の中で、平和や環境のために働いていく信徒を送り出していくのは、確固とした福音が語られる説教と祈りである、と語り、信徒を社会へと派遣していく教職の役割を強調した。

この他、例年のように新約聖書や旧約聖書、またルター-の著作等からの主題の展開がなされた他、岐阜教会の信徒説教者である齋藤末理子氏によって、JELCの宣教方策の中で取り組まれている



講演する齋藤末理子氏

る信徒育成プログラムについてもわがかわれた。

なお、セミナーの参加は、西日本ルーテルとルーテル教団を含むルーテル3教団からの参加者等31名と神学生などの部分参加者であったが、設定された主題とその告知にもかかわらず、信徒の参加が一部に留まったことは、やや残念であった。

(健軍教会 小泉基)

教職授任按手式礼拝

3月12日午後7時より東京教会にて教職授任按手式が執り行われます。今年は3名が按手を受けます。新しい牧師誕生に、どうぞお立会いください。

2006年度 日本福音ルーテル教会

教職授任按手式礼拝

場所: 宣教百年記念東京会堂(東京教会)
 日時: 2006年 3月12日(日) 午後7時より

日本福音ルーテル教会の牧師として、次の2名が新任教職に就任し、授けられる予定です。

関野 和寛(武蔵野教会出身)
 西川 晶子(大江教会出身)
 花城 裕一朗(神学院教会出身)

礼拝は、新任教職の紹介と授任の儀式が行われ、新任教職の宣誓が行われます。

発行所 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
 〒162-0842 電話03-3260-8631
 日本福音ルーテル教会事務局広報室
 振替口座 00190-7-71734
 ウェブサイト http://www.jelc.or.jp
 E-mail jelc@jelc.or.jp
 発行人 徳弘浩隆 tokuhiro@jelc.or.jp
 印刷人 精文堂印刷株式会社(定価1部40円)

CONTENTS

目次

- 1 常議員会
神学セミナー、教職授任按手式礼拝
ルター-の街から
- 2 牧師の声・信徒の声
求道者の旅 12. ケネス・J・デール
- 3 聖研のキリストはわたしのために死んでくださった
PM21「総会に向けて」
- 4 議長コラム、宣教する教会
インフォメーション 住所変更、映画紹介
竣工式記念礼拝(沼津教会)
ティーンズキャンプのお知らせ、訂正

福音版

- 1 バイブルメッセージ キラキラ、つらら
 - 2 聖書人物伝 12! ユダ
- ここに寄り添って 愛することにより愛され
 たるこままの子育てブログ



ルター-の街から

ヴィッテンベルクの市の中心はマルクト広場です。そこにはルターとメランヒトンの像があり、祭りには店や見世物が広場を埋め、時には政党などの集会も行われます。この間は、30台ほどのクラシック・カーが集まっていました。このマルクトは旧市庁舎 アルテス・ラートハウス の前に広がっています。旧市庁舎の1階は絵画の展示館、2階は市の事務所とホール、3階は会議室、4階にいまわたしが詰めているルター-ツェントラムがあります。

2階では、毎日のように結婚式が行われ、ささやかなパーティーが開かれます。3階ではこの地区の牧師会がひんぱんに行われています。牧師が足りないため、共同で広い地域をカバーしていく相談、若者を対象とした伝道、そして毎回の大きなテーマは2017年です。

どのように宗教改革500年を迎えるか、行事だけでなく、今日におけるルター-と宗教改革の意味を捉えようと懸命です。2017年という時間の区切りがあるので、共同牧会も伝道も、財政的苦境にも、ドイツの教会が具体的に、生き生きと取り組んでいるような印象を受けています。

ヴィッテンベルクは場所ではありません。そこではルター-が受け継がれ、語られ、ルター-を生きようとしている人々がいます。ルター-との出会いに、ヴィッテンベルクをお訪ねください。

森 優もりまさる / ルター-シュタット・ヴィッテンベルク、ルター-研究所(全員)
*ルター-センター www.luther-zentrum.de

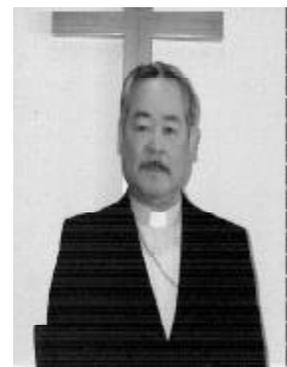
Information — 広報室よりお知らせ

福音版 版下作成

福音版を別途配布して下さっている教会の案内欄の版下を広報室で作成します。500部以上配布している教会は無料、499部以下の教会は1種あたり¥3000-です。詳しくは広報室・南雲まで。e-mail koho04@jelc.or.jp FAX 03-3260-1948

次号告知

ご好評をいただいていた「ルター-の街から」、「献身インタビュー」福音版「聖書人物伝」は今号を最後に終了させていただきます。応援ありがとうございました。また、執筆者の方々には長らくご奉仕いただき大変感謝いたします。次号より新コーナーが始まります。70号を迎える「くるつてる」をこれからもよろしくお願ひいたします。



東海教区 高蔵寺教会 牧師 土井 洋

献身

～神の内なる声を聞いたとき～

DOI, Hiroshi Pastor <牧師の声>

牧師になる前は何をされていましたか？

日本ルーテル神学校に在学。その前は大学で商学、西語等を学んでいました。海外で働くことを夢見て、語学習得に励み、大学で教師に出会いました。師はキリスト者でありましたので、的確な助言をいただきました。

受洗は、池田教会で吉田康登先生からです。20歳の冬休みでした。牧師館に毎夜一週間通いました。

吉田先生から小教理問答書の解説をしていただきました。先生が質問を読み、奥様が答えるという形式でした。吉田先生は待てなから言葉が多く交わす必要はありませんでした。一定の距離から、私を読み通しておられたようです。人の心を読む訓練の時でした。

牧師になろうと思われたのはどんなきっかけですか？

貧乏学生でした。食費と住居費を切り詰め、栄養失調気味でした。見るに忍びなかつたので、吉田牧師の息子、A氏の宿に

同居させてくださいました。彼は聖文舎勤務でした。彼の本を自由に読ませてもらいました。彼が語る文学的断片から大いに刺激を受けられました。トルストイとドストエフスキの比較、A・シユヴァイツァーは私の人生観を変えました。大学3年から、市ヶ谷のクライター寮に入ることができました。寮生活の中で、神学校の存在を意識するようになり、石橋先生に相談する。当然であるかのように、神学校への進学を奨められました。

牧師になつてよかったと思つたことは？

本心を言はずで偽善的に聞こえるでしょう。よかったと思つたことは、往々にして人間的なことが多いです。言い換えれば自己満足です。だからこの項目に答えるのは複雑です。よかったかどうかがよく分かりません。言えることは、ただです。週一度は聖書を読みます。ただ読むだけではありません。聖書を格闘します。心を打つ拳闘です。

「腿の関節がはずれるほどには及びません。それでも目に映る風景が少し違います。風景は外にあるのに、内なるものまで見えてきます。見えなかつたものが見え、見えなかつたものを見るようになり、

継続は力なり。継続すべきことを継続することが、これからの課題です。昨年子どもたちの創作をしてみました。子どもたちの前で発表しようと思つていました。卒業生に贈る機会をつかっています。その反応を見てから次の段取りを考えようと思つています。子どもたちから大きな力をもらっています。彼らはあるがままの姿でぶつたててきます。子どもたちに聖書の話をすると、これがよく理解して、よりよく理解して、もつたために、聖書の内容を弁護することはかえって不遜に思えます。

I.E.S.が語り伝えようと、真意の把握に、これからは心を通わせようと思つています。

「腿の関節がはずれるほどには及びません。それでも目に映る風景が少し違います。風景は外にあるのに、内なるものまで見えてきます。見えなかつたものが見え、見えなかつたものを見るようになり、

継続は力なり。継続すべきことを継続することが、これからの課題です。昨年子どもたちの創作をしてみました。子どもたちの前で発表しようと思つていました。卒業生に贈る機会をつかっています。その反応を見てから次の段取りを考えようと思つています。子どもたちから大きな力をもらっています。彼らはあるがままの姿でぶつたててきます。子どもたちに聖書の話をすると、これがよく理解して、よりよく理解して、もつたために、聖書の内容を弁護することはかえって不遜に思えます。

I.E.S.が語り伝えようと、真意の把握に、これからは心を通わせようと思つています。

継続は力なり。継続すべきことを継続することが、これからの課題です。昨年子どもたちの創作をしてみました。子どもたちの前で発表しようと思つていました。卒業生に贈る機会をつかっています。その反応を見てから次の段取りを考えようと思つています。子どもたちから大きな力をもらっています。彼らはあるがままの姿でぶつたててきます。子どもたちに聖書の話をすると、これがよく理解して、よりよく理解して、もつたために、聖書の内容を弁護することはかえって不遜に思えます。

I.E.S.が語り伝えようと、真意の把握に、これからは心を通わせようと思つています。

Interview 3月 NANRI Mitsuko Layperson <信徒の声>



九州教区 佐賀教会 信徒 南里 照子

～教会の宝石を捜して～ 信徒

キリスト教との出会いは

聖学校の校長先生から紹介された主人と結婚した年に、佐賀教会が改築されました。新しい会堂が出来上がったとき、クリスマスチャンである主人に連れられて初めて教会に行きました。もう55年くらい前のことです。

洗礼はいつ受けられましたか

教会に通い出してから5年後です。主人からは洗礼を勧められましたが、なかなか踏み切れませんでした。共に聖書者ですから結婚生活の中で、いろいろ悩みもあつてすべてが順調にいったわけではありません。そんなとき、マヤ・ウィンテル宣教師に出会うことになりました。洗礼を受けることを決めました。

わたしが洗礼を受けてから8年後、主人が伝道師として働くことが認められました。佐賀地区の牧師・宣教師の方々と一緒に25年間伝道・牧会の特任に佐賀地区の聖書者伝道に一生懸命だったことを思い出します。大勢の方々が協力し助けてくださいました。

主人が伝道師を辞めた後は、佐賀教会の信徒として夫婦で共に礼拝を守ることが大きな喜びでした。教会では手話教室をし、幼稚園では主人と共に子どもたちに手話を教えることができました。今は主人も亡くなり、わたしも体が弱ってきていますが、あとを引き継いでくれる人々がいることを嬉しく思います。また、レイボーハウス創設期に参加して、他の障がいをもっている人々たちとの交わりが与えられました。

洗礼を受けてからは、もちろんいろいろありますが、大変恵まれた歩みだと思つています。神さまに感謝しながら

毎日過ごしています。今後教会でどのような働きをしたいと思ひますか？教会に期待することは何ですか

長い間、佐賀で行なわれてきた聖書者伝道がなくなつてしまつたのが残念です。現在いる人々も高齢になってきました。手話のできる人々もたくさんいるので、ぜひ聖書者たちと関わり交わつて信仰生活を送りたいと思ひます。

教会は若い人々だけに目を向けるのではなく、すべての年齢層の人々に対して福音の種を播き続けて欲しいです。特に高齢者に対しては今まで以上に心をよせて欲しいと思ひます。何と云つても、今まで教会を支え、信仰を守り通してきたキリストに在る兄弟姉妹ですから。わたしも、神さまのみもとに行くまで、礼拝生活を守り、人々に喜びを伝えて行きたいと思ひます。

求道者の旅 A SEEKER'S JOURNAL

第12回 キリストの体にあずかる

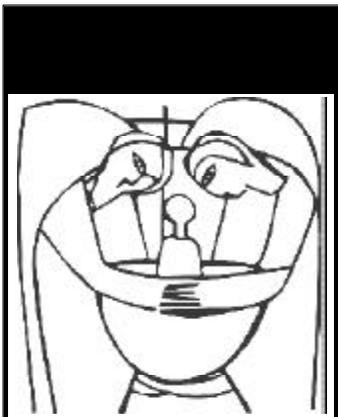


ケネス・J・デール ルーテル神学院名誉教授 引退宣教師

12回の連載を通して、信仰と生活について見て参りました。前回は、聖書の読み方について触れました。今回は、礼拝の頂点とも言うべき聖餐についてです。「聖餐はキリストの再臨の日まで、その生と死、そして復活についてたゆまず思い起こすために与えられた秘跡である(聖公会公式祈祷集)」と学びます。私は、聖餐式に機械的に参加していることがある事を認めなくてはなりません。しかしまた、聖餐台に進み「キリストの体です」という言葉を聴き、パンと葡萄酒をいただく時、深い内省やインスピレーション、あるいは心が一新されるのを感じる瞬間もあるのです。聖餐の本質 「あなた方の為に喜んで死ぬ。私の体と命をあなた方の為に捧げよう」とおっしゃり、その言葉通りになさつたお方の精神を聖餐式で受け取っているのです。同時に真実であると思えば、断固として進む勇気をも受け取っています。御父の導きにより、恐れることなく

当時の聖職者たちの偽善、支配階級にはびこる不正を暴き、死をも厭いませんでした。彼の血と肉を受け取る時、この犠牲の精神と勇気とを、私たちの思いと行いに受け容れるよう呼びかけられているのです。聖餐の捧げもの 聖餐式において聖壇に運ばれるパンと葡萄酒が、その数分後には、キリストの体と血として受け取られるとき、そこには深い象徴性が存在します。聖母マリアは、我が子を神に捧げました。そしてその子は、自ら進んで我が身を捧げるようなお方へと育ちました。けれども、御父に従い命を捧げたが故に、再び新たな命を受け取つたのです。神は、捧げられたイエスの命を取り上げ、この命を生きて世に働きつづけるキリストの霊として私たちに御戻りくださったのです。ここから読みとれるメッセージとは何でしょうか それば あなたの持ち物をそのまま私に譲ってください

れば、私はそれを祝福して戻します。」ということではないでしょうか。私たちの献身の言葉には、二重の意味が込められています。「主よ、私はここにいます。私の身を捧げます」そして神の御返事を聞くのです。「あなたの捧げものを清め、強めてあなたに戻そう。」 「あなたに与えられた私の体」 今日、聖餐に与ることは、とても深い経験でした。私たちはパンを受け取り、「これはあなたに与えられた私の体である」という言葉を聴きました。何と満たされた言葉でしょう！ このパン-小麦、土、太陽、空気、雨、そしてパン作りの人々の手と道具-これらすべてが、キリストの体を形成しているのです。すなわち、キリストはすべてであり、すべての内に満ちているのです。復活のキリストは、全宇宙に臨在されています！ そしてすべては私たちに与えられています。何と豊かな神の恵みでしょう！ (翻訳: 上村敏文)



聖書研究 12 キリストがわたしのために死んでくださった 文 賀来周一

老シメオンは十字架の死を幼子イエスの将来に見まし...

キリストの死に関して、ルターはガラテヤ書大講解のなかで...

「ああ、物分りの悪いガラテヤの人たちだれがあなたを...

「キリストは、わたしのために死んでくださった」といふ信仰がなければ...

おいて行為するのではない。今はおとめから生まれた神の子...

「これはすべての教えのなかでもっとも善く、もっとも慰めに満ちている...

シメオンは、罪人キリストの姿を幼子に見たのです。彼はけっして最高の模範者として...

いささかくどくどとルターを引用したことをお許し願いたいと思ひます。

着せてそれでキリストを包み込んでキリストが我々すべての罪を負われるのを見ること...

「総会に提案されること」 「るうてる法人会連合」の総会がありますので、教会自体の総会には大きな提案はありません。

集中連載 総会に向けて.....

P3 牧師その使命と働き) 委員長 沼崎勇

1.現在まで取り組んできたこと 2003年度から毎年、全国教職研修会を行ってきました。

P4 宣教共同体としての学校・施設) 委員長 藤井邦夫

P5 世界宣教の推進 委員長 渡辺純幸

2.総会に提案されること 「るうてる法人会連合」の総会がありますので、教会自体の総会には大きな提案はありません。

へのご支援とお願いです。多くの教会のご支援とお祈りをいただいておりますが、特に宣教部門へのさらなるご支援をお願いします。

